

環境経営レポート（第15版）

活動期間 令和3年4月～令和4年3月



令和4年5月10日

承認	作成
霜触	根岸

《ご挨拶》

わが社は1971年に創業して今年で50年を迎えます。群馬県を中心に以下のとおり社会基盤整備に貢献してきました。

1. 建設コンサルタントとして社会基盤整備に関わる中で、最も川上の位置付けにある業務を通じ、21世紀の快適環境整備創りの一翼を担う事の重大さを認識し、社会に貢献していく。
2. 人・物・情報の経営資源を有効に活用し、規模の増大よりも質の向上を目指す技術集団として、持続的な会社の繁栄を築くと共に、社員とその家族の幸福と夢実現の為に利益追求の経営に不断の努力をする。
3. 社会の構造とニーズは厳しく変化している。社会基盤整備においても財政再建を錦の御旗に掲げて、著しいスピードで事業費の縮削減が毎年繰り返されており、今後もその流れは続くものと予測せざるを得ない。その流れを否定する事無く、変化とニーズを敏感に受け止めて柔軟な対応能力を養い、会社の持続可能な目標と方向性を誤らない経営に徹する。

わが社では、昨今の経済社会状況を考えながら、環境をキーワードとした社会基盤整備に貢献してまいりました。コロナ禍による新生活様式への対応、また働き方改革などの課題は多くありますが、今回も、最新の1年間の取り組み結果を環境経営レポートとして発行することができました。

令和3年4月1日

株式会社 オウギ工設

代表取締役 霜触 和也

《目次》

I. 環境経営方針	P - 1
II. 事業活動の規模	P - 2
III. E A 21推進体制	P - 3
IV. 環境経営目標とその実績	P - 4
V. 環境活動の取組と評価	P - 6
VI. 環境経営目標に対する評価と課題	P - 7
VII. 環境への取組状況写真	P - 8
VIII. 環境関連法規の遵守状況	P - 9
IX. 代表者による全体の評価と見直し	P - 9

I. 環境経営方針

基本理念

地球環境が様々に変化する中、「住み続けられるまちづくり（SDGs）」を目指し、社会インフラ整備の計画・設計者として、環境に優しい循環型社会の実現と、インフラストックの長寿命化に貢献し続けます。

行動指針

1. 全従業員がそれぞれの役割に応じて行う事業活動と地球環境との結びつきを意識しながら、環境管理活動の目標及び施策を活動計画の中で明らかにして環境管理活動を実施します。
2. ストックの維持管理業務に広く関わり、環境に配慮し、環境負荷低減につながる提案、設計に努めます。
3. 業務を適切に進捗させるため作業時間の削減に努め、先進技術の活用を進めながら、環境負荷を削減します。
4. 総エネルギー投入量、総物質投入量、温室効果ガス排出量、廃棄物等総排出量、水使用量の軽減に努め、環境負荷を削減します。エコドライブ、省エネルギー化に積極的に取り組みます。
5. 法令を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の継続的な改善を図ります。
6. 環境経営方針を全社員に周知し、社外に環境経営レポートとして開示します。

基本理念、行動指針に基づいた環境経営を実施し、継続的に改善を行います。

令和4年4月1日

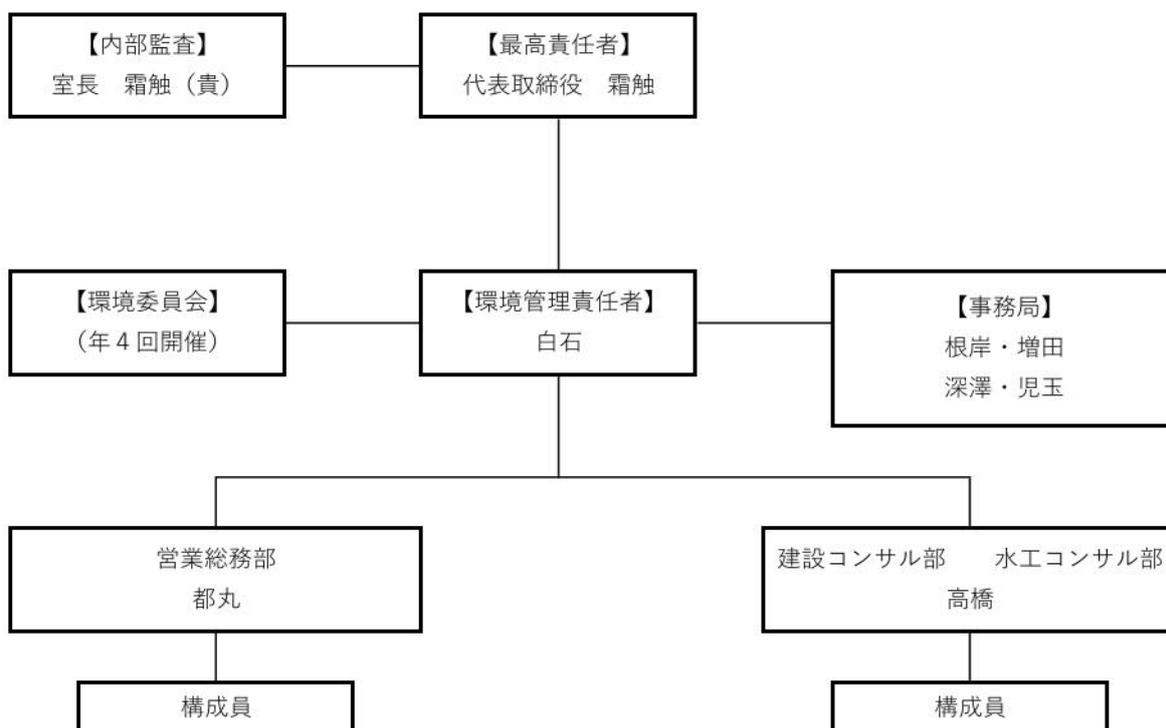
群馬県前橋市上泉町268番地
株式会社 オウギ工設
代表取締役 霜触 和也

II. 事業活動の規模

会社概要及び環境保全関係責任者・担当者・連絡先について示します。

会社名	株式会社 オウギ工設	
代表	霜触 和也	
設立	昭和47年11月	
資本金	2,500万円	
売上	5億円(令和3年度暫定)	
所在地	本社	〒371-0007 群馬県前橋市上泉町268番地
		TEL:027-233-0561
		E-mail:ohgi-soumu@circus.ocn.ne.jp
	分室	〒371-0811 群馬県前橋市朝倉町一丁目1番地10
	伊勢崎支店	〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3342番地1
	渋川支店	〒377-0065 群馬県渋川市北橘町小室656番地
	太田支店	〒373-0818 群馬県太田市小舞木町419番地
	船橋支店	〒274-0063 千葉県船橋市習志野台二丁目73番11号川野ビル
柏支店	〒277-0825 千葉県柏市布施854番地2	
事業内容	建設コンサルタント部門	上・下水道、道路・橋梁、河川・砂防、都市計画・地方計画
	環境コンサルタント部門	環境調査、環境予測、環境基本計画、リサイクル計画
	補償コンサルタント部門	土地調査、物件調査、機械設備調査、事業損失調査
	測量・調査部門	基準点測量、地形測量、水準測量、路線測量
	地質調査部門	土質・地質調査、各種ボーリング調査及び解析
事業登録	建設コンサルタント登録	令和1年10月28日 登録番号 建01第4744号
	補償コンサルタント登録	平成29年11月28日 登録番号 補29第1756号
	測量業登録	令和2年4月1日 登録番号 登録(12)-4874号
	地質調査業登録	令和3年5月30日 登録番号 質03第2566号
う、引き続き周知を図り	群馬銀行	
社員数	45名(男32名、女13名)	
エコアクション21認証・登録番号 0003494		
認証・登録事業者	株式会社 オウギ工設 本社及び支店	
事業活動	建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量、地質調査業	
認証・登録日	2009年4月2日	
更新・登録日	2019年4月2日	
有効期間	2023年4月1日	
環境管理責任者	常務取締役 白石 清光	
事務局	水工コンサル部 部長 根岸 智和 (E-mail:negishi@ohgi-k.jp)	

III. E A 21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 霜触和也】</p> <p>① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の業務上の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>② エコアクション21の構築・運営・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。</p> <p>③ 環境経営方針を制定する。</p> <p>④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【常務取締役 白石清光】</p> <p>① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。必要事項を事務局に指示する。</p> <p>② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
環境管理事務局長	<p>【水工コンサル部 根岸智和】</p> <p>事務局長として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。事務局会議を開催する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局で構成し、原則として3ヶ月に1回環境管理責任者が招集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

IV. 環境経営目標とその実績

平成29年度を基準年とし、今年度目標（令和3年度）と令和4年度までの中長期目標を設定しました。

1. 令和3年度の目標、実績は次のとおりです。

達成状況の表示：○達成、△未達成、×未実施

活動期間 令和3年4月～ 令和4年3月	管理項目	単位	H29年度 (基準年)	R3年度				達成 状況	R4年度 目標		
				目標		実績					
二酸化炭素 排出量の削減 (総量)	電力使用量	kwh	60,000	57,600	-4%	60,940	2%	△	57,000	-5%	
	ガソリン使用量	ℓ	14,000	13,440	-4%	13,218	-6%	○	13,300	-5%	
	軽油使用量	ℓ									
	灯油使用量	ℓ	315	302	-4%	0	-	○	299	-5%	
	都市ガス使用量	m ³	100	96	-4%	101	1%	△	95	-5%	
	LPガス使用量	m ³	38	34	-12%	38	1%	△	33	-5%	
二酸化炭素排出量		kg	60,913	54,041	-13%	59,027	-3%	△	53,478	-5%	
廃棄物排出量の 削減(総量)	廃棄物発生量	kg	3,859	3,705	-4%	1,531	-60%	○	3,666	-5%	
水使用量の 削減(総量)	水使用量	m ³	300	288	-4%	354	15%	△	285	-5%	
本業に 関する 目標	ストック 維持管理 業務	受注物件数(数値)	件	-	-	9%	-	6%	△	-	10%
		取組み(行動)	-	-	提案営業		提案営業		○	提案営業	
	工程予定 進捗率	進捗遅れ(数値)	件	-	-	-	18%	-	-	5%	
		取組み(行動)	-	-	集計の徹底		集計の徹底		○	-	-

※電力排出係数：0.455東京電力エネルギーパートナー平成30年実施（R2.1.7環境省、経産省公表）

※化学物資については使用していないため未記入

※R1年度より軽油を追加（目標、実績ともにガソリンと軽油の合計量として把握する。）

2. 主な環境負荷実績（総量）

環境への負荷	R2年度	R3年度
CO2排出量 (kg-CO2)	59,902	59,027
廃棄物排出量(kg)	2,025	1,531
水資源投入量 (m ³)	404	354

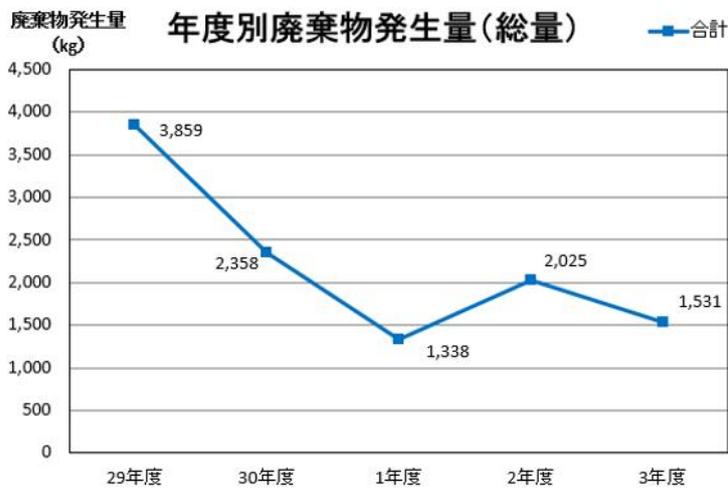
3. 実績グラフ



微増傾向にありましたが、若干の減少がありました。



R2年度にトイレの故障により使用量が上昇しましたが、
修理完了により今年度は、減少しました。



V. 環境活動の取組と評価

令和3年度における環境活動の取り組みと評価を示します。令和3年度の数値目標は、下表の達成率が100%となった場合を想定して数値化しています。平成24年度終了時点で、社内の取り組み評価は概ね90%であったことから、達成率100%を目指し社員全体で残り10%の改善に向けた取り組みを実施します。

取り組み内容の評価点（4・・・実行、3・・・おおむね実行、2・・・実行にバラツキ、1・・・未実施）

二酸化炭素発生量削減の取り組み（42/48 達成率 88%）		
取り組み項目	評価	コメント
①昼休みや残業時の必要のない場所を消灯する。	4.0	概ね実施されている。
②使用していない部屋の消灯。	3.9	各部屋の社員が心がけて実行している。
③冷暖房の温度設定。	3.6	温度計により室温を管理。夏期は28℃に設定し、窓にカーテン設置をして外気を遮る努力をしている。
④外気の導入。	3.5	エアコンの不要時には外気を導入している。
⑤省エネモードを活用する。	4.0	現時点での出力機器は省エネモードを使用中。
⑥モニターの電源を切る。	3.5	概ね実施されている。
⑦退社時は、待機電力を削減する。	3.5	概ね実施されている。
⑧効率よく残業を実施する。	3.3	業務ごとに残業時間のばらつきがある。
⑨クールビズ・ウォームビズの励行する。	2.0	各自バラバラで、会社として実行しているとはいえないが、防寒対策は努力している。
⑩エコドライブを実施する。	3.4	燃費率は、昨年同様です。
⑪私用で電気を使用しない。	3.7	まだ、私用の電気を利用している者がいる。
⑫エアコンのフィルター掃除をする。	3.2	実行されていない月もある。
廃棄物発生量削減の取り組み（19/20 達成率 96%）		
取り組み項目	評価	コメント
①分別ルールの実行	3.5	周知徹底に時間がかかっているが、定期的に分別方法をアナウンスして行く。
②裏紙使用ルールの徹底	3.9	概ね実施されている。 社内様式に裏紙使用を徹底している。
③紙媒体による回覧をすくなくする。	4.0	社内情報やFAXの電子化が行われている。
④生ゴミの堆肥化・乾燥化	4.0	生ごみ処理機の導入がされている。
⑤パンフレット等のデータ受け取り	3.8	実施されているが、担当者によって対応が異なっている。 不要な資料は送付元に連絡をするなどの対応が必要である。
水使用量の削減の取り組み（12/12 達成率 100%）		
取り組み項目	評価	コメント
①毎月のメータを確認する（漏水防止）	4.0	確認を忘れた月があるが、実行されている。
②節水方法の表示	4.0	すべての蛇口に表示がされている。
③節水コマへの交換	4.0	節水コマが設置できない器具があるため蛇口の交換をした。
ストック維持管理業務の取り組み（7/8 達成率 88%）		
取り組み項目	評価	コメント
①受注割合の拡大	3.0	受注割合の6%（目標9%）。概ね達成されました。
②受注割合の拡大に向けた取り組み	4.0	受注割合の拡大に向けた提案営業ができています。
業務の適切な進捗（4/4 達成率 100%）		
取り組み項目	評価	コメント
①グループセッションの入力を徹底する。	4.0	グループセッション活用による作業時間集計を徹底している。
フロン排出抑制法対応取り組み（4/4 達成率 100%）		
取り組み項目	評価	コメント
①フロン類の漏えい点検	4.0	室内・外機の異常振動、異常運転の有無の点検

VI. 環境経営目標に対する評価と課題

令和3年度における目標値に対する評価と令和3年度の取り組みについて示します。

達成状況の表示：○達成、△未達成、×未実施

取組項目	目標値に対する評価と次年度の取組	
二酸化炭素発生量削減	△	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量は、基準値目標を達成できませんでした。 ・ガソリン、軽油使用量はハイブリット車の導入により目標に対して達成できていますが、電気使用料が大きく達成できませんでした。
	次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き部署内の間仕切りカーテンの設置、窓からの冷気防止にカーテンを取り付け削減努力をします。 ・ハイブリッド車の導入を進めます。 ・二酸化炭素発生量削減の取り組み【R3年度：42/48 達成率 88%】が、100%になるよう、周知をはかります。
廃棄物発生量削減	○	<ul style="list-style-type: none"> ・60%の削減となり基準値目標を達成しました。
	次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の裏紙使用、ダンボールのリサイクルを徹底し、削減します。
水使用量の削減	△	<ul style="list-style-type: none"> ・前年値に対して13%増加し、目標を達成できませんでした。
	次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな節水を周知し、削減します。
ストック維持管理業務	△	<ul style="list-style-type: none"> ・受注割合が、減少しました。
	次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大に向けた提案営業を引き続き行います。
工程予定進捗率	○	<ul style="list-style-type: none"> ・社内に【業務進捗度】を取り入れました。
	次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・【業務進捗度】による業務の進捗程度を把握し続けます。

VII. 環境への取組状況写真（本社）

ハイブリッド車の導入



- ・ 随時、ハイブリッド車の導入を進めています。

ストック維持管理業務の拡大



- ・ 橋梁点検、下水道ストックマネジメント計画策定業務等の受注となりました。

業務進捗管理



- ・ グループセッションを導入し、業務進捗を可視化する手法として、【業務進捗度】を取り入れました。
- ・ 作業時間は15分単位で集計します。

VIII. 環境関連法規の遵守状況

●弊社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	要求事項	確認
電気事業法及び同法施行規則	法定資格者の届出等	遵守
建築士法	法定資格者の届出等	遵守
技術士法	法定資格者の届出等	遵守
測量法	法定資格者の届出等	遵守
建設業法	法定資格者の届出等	遵守
土地区画整理法	法定資格者の届出等	遵守
下水道事業法	法定資格者の届出等	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行、保管場所の表示	遵守
グリーン購入法	環境負荷の少ない製品の購入	遵守
家電リサイクル法	リサイクル及び資源有効利用の推進	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録保管	遵守

●環境関連法規への違反、訴訟等の有無

対象期間中の当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、対象期間中の関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。 ※対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

IX. 代表者による全体の評価と見直し

目標に対する評価 二酸化炭素排出量は、昨年に続き本年度も目標が未達成となった。 ストック維持管理業務については、目標を達成できなかった。 工程進捗率など新たな項目は、目標を達成できた。
今後の取組 コロナ禍の中、従来と同じ様式とはなりませんが、環境活動の取組みが100%を達成できるよう、引き続き周知を図ります。社用車のハイブリッド化も推進し、ソフト面・ハード面とともに二酸化炭素の削減に努めます。 「課題とチャンス」に応えるようストック維持管理業務の拡大や、工程進捗率の運用などの取り組みを推進して行きます。